

# 1号議案 平成28年度活動報告

## 理事長総括 (小川理事長)

28年度を振り返り、大変充実した活動が出来た事をうれしく思っています。29年度はふくてつくがNPO法人を取得して15周年を向かえますが、思えばこのNPO法人を取得したことが現在のふくてつくの活動に大きく影響し、有効だったことが伺えます。法人としての責任と信用が求められる活動領域が増え、内容も多様なものとなり、ふくてつくが年々成長していることを実感しています。NPO法人として今後の活動展開もさらに期待できる内容となりますので、会員協力して取り組んでいきたいと思ひます。

## 事務局報告 (中北事務局長)

### ◆定例会

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
H28.7.2	障害者差別解消法	石田義典氏 小坪啄平氏 NPO ちゅうぶ 理事	
H28.8.6	第15回定期総会開催 3部会の活動紹介	各部会リーダー	・午前中に理事会開催
H28.9.3	地域共生館「ふれぼの」 見学会	「ふれぼの」スタッフ	・「ふれぼの」で「ぼっちゃ大会」を開催 ・総合医療センター院内学級にて木工特別授業実施
H28.10.1	ふくてつくの木工活動を知ろう	小川忠雄会員	・淀川リレーマラソンに有志が参加 ・10/15 運営会議開催
H28.11.5	楽しく使える色彩心理効果	荒井知恵氏 オフィス Aplan	・海望福祉会訪問研修実施 ・チャリティーマラソン「サンタラン」に有志が参加 ・池島ふれあいまつりにて木工活動実施 ・古市南幼稚園にて木工活動
H28.12.3	これからの日本 リハビリの視点から見た和と暮らし	湯川直紀氏 (株)ライフケア総合研究所 理学療法士他	・会誌 91号を発刊
H29.1.7	親睦会 (学習会はなし)		・「eトコ」にてカニパーティーを開催
H29.2.4	海望福祉会訪問研修の報告	中北清会員 建築家	・午前中に理事会開催 ・ふくてつく缶バッジを作成、配布
H29.3.4	健康ボイストレーニング	山下みさ子氏 ジャズシンガー ボイストレーナー	・「eトコ」にて親子木工活動 ・こうべユニバーサルデザインフェアに「すべらんうどん」が出店され、有志が参加 ・岡会員の別荘にて園芸作業
H29.4.1	今日から実践“カラダが変わる”足と靴の体感講座	澤田真樹氏 フットケアアドバイザー	・鶴見緑地バーベキュー場にて懇親会開催 ・「あそび方研究会」セミナー講師を受託
H29.5.6	現場あれこれ～工務店「ケイホールメンテ」の日常～	佐久川尚士会員	・共生・共走リレーマラソンに有志が参加&木工体験実施
H29.6.3	難病患者への福祉用具支援サービス	米崎二郎氏 大阪市援助技術研究室	・会誌 92号を発刊

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第15回 定期総会 H28.8.6 13:35~14:30	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室 正会員総数 39名 出席 26名 (うち委任状出席 5名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度活動報告・同決算 承認</li> <li>・H28年度活動計画・同予算 承認</li> </ul>

■理事会・運営会議記録

開催内容、日時	場所	議事
理事会 H28.8.6 10:30~11:25	大阪市立社会福祉 センター内 大阪市ボランティア ア・市民活動センター フリースペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度活動、決算報告</li> <li>・H28年度活動、予算計画</li> <li>・ふくてつく HP 会員ページ、ロック機能について</li> <li>・海望福祉会訪問研修の具体内容の検討</li> <li>・会の活動内容広報において、つどいの活動紹介を充実させる</li> </ul>
運営会議 H28.10.15 13:00~14:10	大阪市立社会福祉 センター 3階会議 室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽曳野市公立幼稚園における木工の取組について</li> <li>・木工活動への外部団体の協働参加</li> <li>・小児精神科における木工の取組について</li> <li>・ガバナンス〈意思決定〉と会員参画</li> <li>・その他</li> </ul>
理事会 H29.2.4 10:40~12:30	大阪市立社会福祉 センター 3階会議 室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度上半期の活動報告、下半期の活動展望</li> <li>・NPO 認証 15周年記念事業計画</li> <li>・その他</li> </ul>

# 1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動 平成 28 年度事業報告 (H28/7/1~H29/6/30)			
A : 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	院内学級授業	9/14	入院している子供達にも、木工ものづくりを体験を。 小・中学生分かれて授業をする。制限された木工材料の中で独自性のある作品が多く完成し、ものづくりの機会を提供できた。 (池端、小川、鎌田、苺田、佐久川、島村、曾我部、寺岡、松本、山本、劉 11名参加)
	あそぼっくる		
	大阪市立総合医療センター、光陽総合医療分教室		
2	親子木工教室	11/8	看板作りと、ものづくり(工作)と工具体験を。 事前に幼稚園では園児達に看板作成をお願いし、活動当日は仕上げ作業をする。その他、自由木工をし自然木に触れ合う機会を提供できた。その後は余った材料を幼稚園に残して、ものづくりの機会を増やしてもらっている。 (池端、小川、大塚夫妻、鎌田、苺田、佐久川、島村、杉浦、松本 10名参加)
	羽曳野市立古市南幼稚園		
	同上		
3	36 回池島ふれあいまつり	11/23	木工工具の体験と自由な発想による工作体験を。 毎年の様な大きな作品を作るというよりも、クオリティーの高い作品が多くなってきた。長年継続している活動であるがものづくりに求めるものも少しずつ変化しており、要望に応える形で「ものづくり」が実施できた。 (上田、大塚夫妻、小川、鎌田、苺田、島村、曾我部、寺岡、松本、山本、劉 12名参加)
	社会福祉法人海の子の家		
	池島公園		
4	親子木工教室	3/26	地域の親子木工、ものづくり体験を。 参加者は少なかったが手厚い工作体験を親子で楽しむことができた。 (池端、小川、鎌田、苺田、古場、佐久川、島村、曾我部、松本、山本 10名参加)
	e トコプロジェクト		
	e トコ		
5	大人木工体験	4/12	子供達の遊びを紹介する研究会でのものづくり発表。 いろいろなパフォーマンスを紹介するセミナーで童心に返って無邪気に木工にふれあってもらい、ものづくりの楽しさが伝える事ができた。 (小川、鎌田、苺田、曾我部、山本 5名参加)
	あそびかた研究会		
	大阪市立総合医療センター内大会議室		
6	共生・共走リレーマラソン (子供体験コーナー)	5/28	自然木を使った工作、障がい児も自由工作体験を。 多くの子供たちが参加し、凝った作品を時間をかけて制作し、楽しんで工作を体験することができた。障がい者も参加し不安ながら作品を完成させていた。 (有馬、池端、稲住、小川、苺田、古場、佐久川、島村、清水親子・山本(友人)、杉浦、寺岡、曾我部、 14名参加)
	マツサク		
	花博鶴見緑地公園		

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	木工材料加工準備	8/27	病院内学級授業用加工
	10名		材料カット、ペーパーかけで手触り良く、けがの無いよう準備をする。 (池端、小川、鎌田、苺田、古場、杉浦、曾我部、寺岡、松本、劉)
	ATCふくてっく事務所		
2	材料調達	10/10	古市南幼稚園材料調達
	8名		看板下処理。輪切り、枝等のカット。 (池端、和泉、稲住、大塚夫妻、小川、苺田、寺岡)
	生駒いいもり里山		
3	つどい集会	10/22	活動内容の確認と今後の活動展望
	6名		幼稚園や池島での木工活動についての話し合い。 (大塚、小川、鎌田、苺田、古場、島村)
	ボランティア市民活動センター(1階)		
4	木工材料調達(里山)	5/14	鶴見リレーマラソンの活動材料の調達
	6名		木工活動に必要な木材料を調達する。 (池端、和泉、小川、苺田、島村、松本)
	生駒いいもり山		
5	つどい集会	5/20	28年度振り返りと29年度活動の確認
	5名		28年度の活動を振り返り、29年度の活動について新たな進行、サンプル、ものづくり提案など多岐にわたる参加対象者への準備の話をする。 (小川、鎌田、古場、寺岡、島村)
	ボランティア市民活動センター(3階)		

ものづくり活動 平成28年度収益費用報告 (H28/7/1～H29/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	院内学級授業	5,000	28,800	△23,800
A-2	親子木工教室	20,000	38,400	△18,400
A-3	36回池島ふれあいまつり	25,000	78,089	△53,089
A-4	親子木工教室	15,000	27,400	△17,400
A-5	大人木工体験	15,000	12,200	2,800
A-6	共生・共走リレーマラソン	5,000	81,545	△76,545
	合計	80,000	266,434	△186,434

たいけん活動 H28 年度活動報告 (H28/7/1～H29/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	カニご賞味会&交流会	1/22	会員間交流
	12名		秋岡、有馬、池端、小川、荻田、川北、佐久川、島村、曾我部、寺岡、山本、劉
	e トコ		
2	お花見&交流会	4/2	会員間交流
	12名		有馬、和泉、稲住、岡、小川夫妻、荻田、曾我部、寺岡親子、中北、山本、
	鶴見バーベキュー広場		

ものしり活動 平成 28 年度活動報告 (H28/7/1～H29/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1			

## 2. 東大阪部会 (清水会員)

東大阪部会 平成 28 年度事業・活動報告 (H28/7/1～H29/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	H28/7/1～H29/3/31 東大阪市高齢者・重度 身体障害者住宅改造費 助成制度適正検証事業 H29/4/1～H29/6/30 事業名称変更：東大阪 市重度身体障害者住宅 改造費助成制度適正検 証事業	H28 年 7/1～ H29 年 6/30	高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。高齢者・障がい者の在宅生活の継続に寄与する共に、施工業者のスキルアップや地域福祉力の育成に寄与する。検証活動（建築士・セラピスト）・事前相談会・報告書作成・データ収集等実施  H29 年 4 月より高齢者の住宅改造費助成は廃止され、重度身体障害者住宅改造費助成のみとなる。また、H29 年度から事前相談会は月 1 回（H28 年度は月 2～3 回）の開催、申請書類等の作成も市側で作成することとなる。
	東大阪市		H28 年 4/1～H29 年 3/31 実績 検証実績/高齢者世帯 51 件・重度身体障がい者世帯 11 件 セラピスト検証活動 14 件 事前相談会実績 25 件
	東大阪市内		H28 年度報告書作成
2	東大阪市介護保険住宅 改修適正検査事業	H28 年 7/1～ H29 年 6/30	住宅改修の質的を第一義とし、副次的に不適切な介護保険適用を抑制する。検証活動・申請書類等作成・事例検討会・データ収集等実施
	東大阪市		H28 年 4/1～H29 年 3/31 実績 検証実績/単独事前及び事後審査 168 件 併用事前及び事後審査 50 件 書類審査 4 件 H28 年度報告書作成 H29 年度介護住改手引書改訂版作成
	東大阪市内		
3	東大阪市介護保険住宅 改修研修会	H28 年 ①8/3、 16:00～ 18:00 8/24 ②8/17 14:00～ 16:00	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、介護保険住宅改修制度に関する理解を深めるための研修会を、施工事業者登録説明会と同時に開催する。共通：H27 年度の介護保険住宅改修の現状 ①住宅改修計画時の注意点について、生活行為の動作確認について。 ②理由書作成時の注意点について、手すりの取付について。
	東大阪市		参加者①施工事業者 8/3：152 社 8/24：97 社 ②介護支援専門員 105 名
	東大阪市男女共同参画 センター 6 階 イーコラムホール		①適切・不適切事例の違いが理解され、不適切事例の減少が期待できる。 ②理由書に求められる要件が理解され、不備な理由書の減少が期待できる。
4	寝屋川市介護保険住宅 改修支援事業	H28 年 9/2 ①10:00 ～12:00 ②14:00 ～16:00	健全な制度利用と施工事業者の資質向上への支援、担当職員へ介護保険住宅改修の趣旨を促し、健全な運営には行政体制の確立が必要であることを明らかにする。 事業者登録研修会+ケアマネ研修会として、同じ内容で 2 回実施する。 研修会に際し、8/9 に申請書類の実態調査をおこなう。 ・介護保険住宅改修の目的、流れ、役割、事例をもとに説明をおこなった。
	寝屋川市		参加者：施工事業者+ケアマネ 約 100 名業者への連絡は全体告知及び掲示のみであり個別連絡は無い。今後この方針は変更しない。
	寝屋川市立保健福祉セン ター 4 階健康指導室		・制度の趣旨が理解され、不適切申請・事例の減少が期待できる。 ・ケアマネに住宅改修における役割を再認識することが期待できる。
5	ワンポイントアドパイ ス冊子発行		活動なし H29 年度後半に延期
6	出前講座		活動なし

## 東大阪部会

## 平成 28 年度活動報告 (H28/7/1~H29/6/30)

## B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
場所			
1	定例検討会	H28 年 7 月 ~H29 年 6 月第 3 土曜 日	東大阪活動における情報の共有と促進。課題と対策の検討。共通認識及びスキルの向上。
	検証メンバー全員		12 回開催 検証基準や技術手法を共有し、個人ではなくチームで取り組み適切、且つ、迅速な適正検証活動が推進されている。
	ATC ふくてっく事務局・ 大阪市立社会福祉センター会議室		

## H28 年度東大阪検証活動 作業担当報告

※ 担当日、都合が悪い時は、自ら事前に他のメンバーと交渉し交代する。変更になった場合はメールで全員に連絡する。

	検証記録/ 改造助成・介護住改		改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてつく 定例会発表 担当	その他活動予定
	原則:木曜 ゴシックは水曜	集積 送信	第1・3・5 木曜	担当		第3 土曜	議事 進行	記録		
4月	7.14.21.27	鎌田	① 4/7	清水	4/14 4/27	4/16	川北	曾我部	4/2 川北 「下町ロケット」	
			②4/21	鎌田	小川					
5月	12.19.26	清水	③5/12	寺岡	5/12 5/26	5/21	川北	小川	5/7 小川 「ハリアフリー 2016展」	・改造助成 H27 年度報告書/アンケート調査報告書納品
			④5/19	川北	山本					
6月	2.9.16.23.30	春岡	⑤6/2	寺岡	6/9 6/23	6/18	山本	川北	6/4 曾我部 「東大阪発祥の美味しいモノ探し」	・介護住改 H27 年度報告書納品
			⑥6/16	後藤	川北					
			⑦6/30	曾我部						
7月	7.14.21.28	川北	⑧7/7	磯田	7/14 7/28	7/16	山本	大塚	7/2 清水 「近の鶏卵」	
			⑨7/21	小川	小川					
8月	4.10.18.25	曾我部	⑩8/4	山本	8/10 8/25	8/20	川北	山本	8/6 無し	・8/3.17.24 介護住改登録説明会及び研修会 ケアマネ講習会
			⑫8/18	川北	山本					
9月	1.8.15.21.29	大塚	⑬9/1	小川	9/8 9/21	9/17	山本	大塚	9/3 大橋 「生駒山山頂」	9/2 寝屋川研修会
			⑭9/15	磯田	川北					
			⑮9/29	山本						
10月	6.13.20.27	磯田	⑯10/6	後藤	10/13 10/27	10/15	川北	曾我部	10/1 寺岡 「災害時の食事」	
			⑰10/20	川北	小川					
11月	2.10.17.24	大橋	⑱11/10	大塚	11/10 11/24	11/19	山本	大塚	11/5 山本 「認知症安心ガイドブック」	
			⑲11/17	寺岡	山本					
12月	1.8.15.22	後藤	⑳12/1	鎌田	12/8 12/22	12/17	川北	清水	12/3 鎌田 「外断熱と内断熱」	
			㉑12/15	曾我部	川北					
1月	5.12.19.26	山本	㉒1/5	清水	1/12 1/26	1/21	山本	清水	1/7 磯田 「東大阪有名企業第2弾」	
			㉓1/19	山本	小川					
2月	2.9.16.23	寺岡	㉔2/2	磯田	2/9 2/23	2/18	川北	後藤	2/4 後藤 「東大阪町名の由来第3弾」	
			㉕2/16	後藤	山本					
3月	2.9.16.23.30	小川	㉖3/2	小川	3/9 3/23	3/18	山本	鎌田	3/4 大塚 「東大阪ゆるキャラ特集」	
			㉗3/16	清水	川北					
			㉘3/30	鎌田						

※「事前相談会」太字は会場:西福祉事務所



東大阪部会 平成 28 年度収支報告 (H28/7/1~H29/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者 住宅改造費助成制度適正検 証事業	2,224,800	諸謝金 4,125,500 印刷製本費 18,024 通信運搬費 4,086 消耗品費 168,324 旅費交通費 389,990	
A-2 A-3	東大阪市介護保険住宅改修 適正検査事業	2,961,360	会議費 12,450 租税公課 2,800 支払手数料 16,200	
A-4	寝屋川市介護保険住宅改修 支援事業	108,000	諸謝金 113,000 旅費交通費 16,340	
合計		5,294,160	4,866,714	427,446

8%

### 3. こむねっと部会 (中北会員)

#### 総括

計画	実績評価
平成27年1月の「4つの矢」構想から1年半を経過し、その具体化に取り組んだ。	第三者評価事業においては、着実な実績を積み重ねることができた。評価活動は途切れることなく取り組むことができる状態に至っている 他の事業（SCP、地域生活支援、建築物保全）については、これを一本化して「地域資源の利活用と地域福祉拠点整備」事業に集約し、大阪NPOセンターとの連携を起動して、起業の出発点に立っている。

こむねっと部会 平成28年度事業・活動報告 (H28/7/1～H29/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動) <i>太字斜体は計画からの変更追加内容</i>			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
A1-1	福祉サービス第三者評価	通年	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会
	大阪府庁ほか		評価機関連絡会では、評価基準の改訂など、めまぐるしく変わる評価活動について多岐に亘る議論が交わされた。懸案の連絡会主催研修会を実施することができた。大阪府地域福祉推進審議会はこの1年、開催がなかった。
A1-2	福祉サービス第三者評価	通年	第三者評価活動
	奈良県手をつなぐ育成会		奈良県手をつなぐ育成会は3度目の取組を遂行。
	同朋学園 風の森		同朋学園および風の森の第三者評価も完了した。
A2	SCP研究会	通年	サービス・コンティニューイティ・プランニング事業
	医療・福祉事業者		ゆめ風基金、PARTY・PARTY等とともに、災害時BCP研究会に参加してきた(毎月第4金曜日)。
	関西広域連合域		
A3	特殊建築物定期検査報告	H28年3月	至善荘および福井寮の検査報告に取り組んだ
A4	外部連携	随時	諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する。
			(宅老連) 研修会等に随時参加 (NPOセンター) 山田裕子氏とは事にふれ連携してきた (ボラ協) 研修会等の企画に随時参加 (JIA福祉部会) 部会・見学会等に参加
A5	その他支援活動		まめっこの支援 相談対応
			牧口邸改修 相談と改修工事を実施
A6	研修ツアー (11/18 海望福祉会)		日帰り研修を実施(参加19名)

**B：部会活動**（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）

	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B1-1	7月部会	7/16（土）	27年度活動総括・28年度活動計画
	12名		たかとり第三者評価訪問調査の計画 同朋学園、風の森第三者評価の構想検討 第三者評価の協働取組（WACCH提案）について討議 海望福祉会への研修ツアー構想について
	大阪市立社会福祉センター		
B1-2	8月部会	8/20（土）	たかとり第三者評価 評価決定会議（第1回） 全項目について評価結果討議
	10名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-3	9月部会	9/17（土）	たかとり第三者評価 評価決定会議（第2回）最終決定 同朋学園・風の森 評価スケジュールの検討 海望福祉会訪問ツアー計画
	10名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-4	10月部会	10/15（土）	奈良県手をつなぐ育成会の課題検討と今後の取組について 同朋学園 自己評価等の読込 海望福祉会訪問ツアー計画の最終吟味
	9名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-5	11月部会	11/19（土）	第三者評価関係討議
	10名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-6	12月部会（休止）	12/17（土）	（同朋学園訪問）
B1-7	1月部会（その1）	1/14（土）	福祉サービス第三者評価 ①同朋学園 評価決定会議 ②風の森第三者評価スケジュール検討 ③天王谷学園第三者評価スケジュール検討
	9名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-8	1月部会（その2）	1/21（土）	1/14部会検討の積み残し課題検討 第三者評価事業今後の見通しと活動計画 まめっこからの依頼対応について 牧口邸改修取組について 空き家・空きビル活用について
	5名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-9	3月部会。	3/18（土）	風の森訪問調査計画 第三者評価事業の協働と課題拡張 空き家・空きビルの利活用
	4名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-10	4月部会	4/15（土）	NP015周年記念シンポジウム企画について 各種障がい施設計画についての報告 風の森第三者評価の振り返り こむねっと事業企画について
	5名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-11	5月部会	5/6（土）	福祉サービス第三者評価関係 ①風の森評価の最終確認・5/12結果報告会の検討 ②評価結果公表について ③奈良県手をつなぐ育成会の取組の新展開
	4名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-12	6月部会	6/17（土）	福祉サービス第三者評価普及協議会（6/5）の報告 評価機関連絡会主催研修会（6/12）の報告 天王谷学園アンケート分析結果の読込 こむねっと事業構想 ①社会的資源利活用と障がい者地域生活拠点開発支援 ②建築物の中長期保全コンサルティング業務
	7名		
	大阪市立社会福祉センター		

こむねっと部会 平成 28 年度収支報告 (H28/7/1~H29/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収入	支出	収支差額
B1-1~12	こむねっと部会 会議室料		20,650	
A1	第三者評価調査者研修 半額補助		55,000	
A6	海望福祉会研修ツアー 貸切バス	164,000	397,580	
A6	同上 弁当		79,845	
A1	奈良県手をつなぐ育成会 訪問調査時昼食費		5,610	
A1	同朋学園 クリスマス会プレゼント		9,180	
A3	建物調査 (至善会)	102,200		
A3	(福井寮)	37,400		
A3	建物調査 活動費支払い		69,180	
A1	第三者評価 (奈良県手をつなぐ育成会)	647,136		
A1	(同朋学園)	300,000		
A1	(風の森)	283,000		
A1・A3	活動費支払い		782,076	
A1・A3	活動費源泉徴収		88,924	
A1・A3	活動費支払い (劉淋)		22,448	
A1・A3	活動費源泉徴収 (劉淋)		2,552	
A1・A3	活動交通費		123,790	
A1・A3	活動交通費 (劉淋)		7,120	
A1・A3	振込手数料		3,402	
	切手		120	
	合計	1,533,736	1,667,477	-133,741

海望福祉会訪問ツアー関係収支の▲313,425円を除くと、229,684円のプラスとなる。

劉淋さんへの活動費・交通費 計 29,568円は本人の意思により預かり金計上としている。

## 2号議案 平成28年度決算報告 (中北事務局長)

### 活動計算書

平成28年7月1日から平成29年6月30日まで

(単位:円)

科目	金額		前年決算
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	370,000		
通信会員受取会費	1,500		
学生会員受取会費	3,000		
例会参加受取会費	3,000	377,500	
2. 受取寄付金		30,000	
3. 事業収益			
ふくてっくのつどい	80,000		
東大阪	5,294,160		
こむねっと	1,369,736	6,743,896	
4. その他収益			
受取利息	72		
雑収益	164,310	164,382	
経常収益計			7,315,778
経常収益計			7,023,654
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	176,000		
人件費計	176,000		
(2) その他経費			
材料費	16,452		
業務委託費	112,390		
諸謝金	5,134,500		
印刷製本費	18,024		
会議費	34,100		
旅費交通費	602,240		
通信運搬費	4,206		
消耗品費	169,706		
租税公課	2,800		
研修費	55,000		
支払手数料	19,602		
雑費	567,995		
その他経費計	6,624,625		
事業費計		6,800,625	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	122,400		
通勤費	32,640		
人件費計	155,040		
(2) その他経費			
諸謝金	65,685		
印刷製本費	1,032		
会議費	72,520		
経常費用計			5,101,932

通信運搬費	64,480			
消耗品費	4,080			
地代家賃	412,260			
接待交際費	6,588			
減価償却費	4			
保険料	35,840			
諸会費	27,000			
慶弔費	1,382			
租税公課	218,809			
支払手数料	30,836			
雑費	147,851			
その他経費計	1,088,367			
管理費計		1,243,407		
経常費用計			8,044,832	6,258,227
当期正味財産増減額			-728,254	765,427
前期繰越正味財産額			7,405,682	7,405,682
次期繰越正味財産額			6,677,428	7,405,682

(単位:円)

I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	6,569,582		6,569,582	
流動資産合計				
2. 固定資産				
什器備品	2			
保証金	137,412		137,414	
固定資産合計				
資産の部合計				6,706,996
II 負債の部				
1. 流動負債				
預り金	29,568		29,568	
流動負債合計				
負債の部合計				29,568
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産			7,405,682	
当期正味財産増減額			△ 728,254	
正味財産の部合計				6,677,428
負債・正味財産の部合計				6,706,996

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

(単位:円)

	ふくてつくのつどい	東大阪	こむねっと	事業費計	管理費	合計
<b>I 経常収益</b>						
1. 受取会費				0	377,500	377,500
2. 受取寄付金				0	30,000	30,000
3. 事業収益	80,000	5,294,160	1,369,736	6,743,896		6,743,896
4. その他収益			164,000	164,000	382	164,382
経常収益計	80,000	5,294,160	1,533,736	6,907,896	407,882	7,315,778
<b>II 経常費用</b>				0		
1. 人件費				0		
給料手当	176,000			176,000	122,400	298,400
通勤費				0	32,640	32,640
人件費計	176,000	0	0	176,000	155,040	331,040
2. その他経費						
材料費	16,452			16,452		16,452
業務委託費			0	0		0
諸謝金		4,238,500	896,000	5,134,500	65,685	5,200,185
印刷製本費		18,024		18,024	1,032	19,056
会議費	1,000	12,450	20,650	34,100	72,520	106,620
旅費交通費	65,000	406,330	130,910	602,240		602,240
通信運搬費		4,086	120	4,206	64,480	68,686
消耗品費	1,382	168,324		169,706	4,080	173,786
地代家賃				0	412,260	412,260
接待交際費					6,588	6,588
減価償却費				0	4	4
保険料				0	35,840	35,840
諸会費				0	27,000	27,000
租税公課		2,800		2,800	218,809	221,609
研修費			55,000	55,000		55,000
支払手数料		16,200	3,402	19,602	30,836	50,438
雑費	6,600		561,395	567,995	147,851	751,846
その他経費計	90,434	4,866,714	1,667,477	6,624,625	1,098,367	7,712,992
経常費用計	266,434	4,866,714	1,667,477	6,800,625	1,243,407	8,044,032
当期経常増減額	▲186,434	427,741	▲133,741	107,271	▲835,525	▲728,254

### 3. 固定資産の増減内訳

科目	期首 取得価額	取得	減少	減価償却 累計額	期末 帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,588	2
合計	427,590	0	0	427,588	2

パソコン2台、プロジェクター1台

### 財産目録

平成29年6月30日 現在

(単位:  
円)

I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
手許現金			80,735	
三菱東京UFJ銀行梅田支店			5,433,987	
ゆうちょ銀行			947,860	
郵便振替口座			107,000	
流動資産合計				6,569,582
2. 固定資産				
什器備品			2	
保証金			137,412	
固定資産合計				137,414
資産の部合計				6,706,996
II 負債の部				
1. 流動負債				
預り金			29,568	
流動負債合計				29,568
負債の部合計				29,568
正味財産				6,677,428

28年度は、大きな剰余金(正味財産増額)を生じました。

その要因は、各部門事業収支が下記の通り前年比減少したところにあります。

	前年度	今年度	対前年比
つどい	— 21,633	—186,434	
東大阪	1,487,487	427,741	
こむねっと	65,454	—133,741	
合計	1,531,308	107,271	△ 1,424,037



### 3号議案 監査報告 (秋岡・稲住監事)

## 4号議案 平成29年度活動計画

### 1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動 平成29年度事業計画 (H29/7/1~H30/6/30)			
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
1	あそびかたフェスタ	8/27	総合医療センターでの年に一度のお祭り。入院中の子供たち、退院した子供たち、通院している子供たちを対象のフェスタ。 多くの子供たちにもものづくり(木工)を体験してもらいたい。病院に長期間いる子供たちに楽しい遊びを届け、笑顔を届けたい。
	あそびかた研究会		
	大阪市立総合医療センター 大会議室		
2	児童養護施設木工作	9月頃	施設の子供達たちに木工ものづくりを体験させてあげたいとの依頼から。
	同上		
	未定		
3	親子木工教室	11/1	工具体験とものづくり体験(依頼内容による)
	羽曳野市立古市南幼稚園		
	幼稚園(羽曳野市)		
4	池島ふれあいまつり	11/23	工具体験と自由木工。
	福祉法人海の子の家		
	池島公園		
5	院内学級木工授業	1月	工作授業でもものづくり。
	あそぼっくる		
	大阪市立総合医療センター		
6	地域親子木工体験	2月頃	親子で木工体験をしてもらう。
	eトコプロジェクト		
	eトコ		
7	共生・共走リレーマラソン	5月下旬	障がい児に工作を体験してもらう。
	マツサク		
	花博鶴見緑地公園		
B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		期待する成果
	場所		
1	つどい集会	2回/年	年間予定確認と活動内容の確認 A:事業活動についての協議、新たな試みへの協議をする場
	各7名参加予定		
	ボランティア市民活動センター 及びATC事務局		
2	里山材料調達	3回/年	木工活動の材料調達
	各5名参加予定		
	生駒いいもり山		
3	材料加工作業	2回/年	木工材料の加工作業 加工作業(ペーパーかけや仕上げ)の作業。
	各8名参加予定		
	ATC事務局		

ものづくり活動 平成 29 年度収支計画 (H29/7/1～H30/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	あそびかたフェスタ	10,000	60,000	△50,000
A-2	児童養護施設ものづくり	0	30,000	△30,000
A-3	幼稚園親子木工教室	20,000	40,000	△20,000
A-4	池島ふれあいまつり	30,000(+5,000)	80,000	△45,000
A-5	院内学級木工授業	5,000	30,000	△25,000
A-6	e トコ親子木工	15,000(+1,000)	30,000	△14,000
A-7	共生・共走レマソン	5,000(+5,000)	80,000	△70,000
B-2	里山材料調達	0	4,500 300 円×5 人×3 回	△4,500
合計		96,000	354,500-	△258,500

上記、収益の欄 (+ ) 標記は、木工材の有償販売による収益を示す。

たいけん活動 H29 年度活動計画 (H29/7/1～H30/6/30)			
B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		期待する成果
1	大人の社会見学	4 回/年	会員間交流 (知識習得を通じて)
	各 8 名参加予定		ふくてっくの季節の遠足目的に、担当者を決め自由に興味のあるものを紹介し、みんなで遊びにいき交流を深める。

ものしり活動 平成 29 年度活動計画 (H29/7/1～H30/6/30)			
B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果

## 2. 東大阪部会 (清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適正検証事業も 12 年目にはいりました。H29 年度 4 月より改造費助成から高齢者が除かれましたが問題提起やその克服提案を繰り返し、少しずつではありますが、その成果も確認する事ができています。今年度も継続して事業を展開し、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。一昨年よりスタートした寝屋川市への支援事業も、介護支援専門員の研修会も今年度から実現します。また、市民の住環境改善に当事者としての気づきを促すため、大阪市住まい情報センターとのタイアップ事業「必要になる前に知っておこう！介護保険による住宅改修」の講座を開催します。

東大阪部会 平成 29 年度事業計画 (H29/7/1～H30/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H29 年 7/1～ H30 年 6/30	目的：高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ-収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。
	東大阪市		質の良い住環境改善と、高齢者・障がい者の在宅生活の継続。
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H29 年 7/1～ H30 年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。
	東大阪市		介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。
	東大阪市内		
3	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	H29 年 8/30	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。
	寝屋川市		施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。
	寝屋川市立保健福祉センター		
4	大阪市住まいの情報センタータイアップ事業 ・出前講座	H28 年度 後半予定	目的：高齢者や家族が住環境改善に主体的に関わる必要性について気づきを促すことを目的としています。
	市民		「介護保険による住宅改修」をきっかけにして、高齢者や家族が住まいのハード面の問題点に気づくことは家庭内事故の防止に繋がり、また、住環境改善の知識を有することは住宅改修等のトラブルの防止に繋がります。
	大阪府内		
5	ワンポイントアドバイス冊子発行	H29 年度 後半予定	東大阪市内に所属する介護支援専門員を支援するために、住宅改修アドバイス集を作成する。500 部発行
			介護支援専門員が積極的に住宅改修等に関わり、適切な計画のもと、高齢者や障がい者が安全で安心した暮らしを実現する。

東大阪部会 平成 29 年度活動計画 (H29/7/1～H30/6/30)

B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	定例部会(月1回開催)	H29年 7月～第3 土曜 12回	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー		チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、 高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する。
	大阪市立社会福祉センター・ ATC ふくてつく事務局他		

## H29 年度東大阪検証活動 作業担当予定

	検証活動日	検証記録	改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてっく 定例会 発表	その他活動予定
	介護住改:木曜 ゴシックは水曜 改造助成: 第1・3木曜	集積 送信	第3 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	担当	
4月	6.13.20.27	川北	4/20	川北	4/13 4/27 小川	4/15	川北	小川	4/1 磯田 「私の仕事 事例」	
5月	11.18.25	山本	5/18	山本	5/11 5/25 山本	5/20	山本	寺岡	5/6 山本	
6月	1.8.15.22.29	春岡	6/15	後藤	6/8 6/22 川北	6/17	川北	後藤	6/3 川北	・介護住改、改造助成 H28 年度報告書等納品
7月	6.13. 20.27	後藤	7/20	曾我部	7/13 7/27 小川	7/15	山本	川北	7/1 清水	
8月	3.10. 17.24.31	清水	8/17	曾我部	8/10 8/24 山本	8/19	川北	小川	8/6 無し	・8/2、9、23 介護住改登 録説明会及び研修会 ケアマネ講習会
9月	7.14. 21.28	大塚	9/21	清水	9/14 9/28 川北	9/16	山本	大塚	9/2 後藤	9/1 又 8 寝屋川研修会
10月	5.12. 19.26	大橋	10/19	山本	10/12 10/26 小川	10/21	川北	鎌田	10/7 曾我 部	
11月	2.9. 16. <u>22</u>	磯田	11/16	磯田	11/9 11/22 山本	11/18	山本	磯田	11/4 鎌田	
12月	7.14. 21. <u>27</u>	鎌田	12/21	鎌田	12/14 12/27 川北	12/16	川北	鎌田	12/2 寺岡	
1月	11.18.25	曾我部	1/18	大塚	1/11 1/25 小川	1/20	山本	曾我部	なし	
2月	1.8.15.22	寺岡	2/15	寺岡	2/8 2/22 山本	2/17	川北	山本	2/3 小川	
3月	1.8.15.22.29	小川	3/15	小川	3/8 3/22 川北	3/17	山本	清水	3/3 大塚	

東大阪部会 平成 29 年度予算計画 (H29/7/1~H30/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成 制度適正検証事業/	500,000	450,000	50,000
			諸謝金 400,000	
			旅費交通費 50,000	
			消耗品 0	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査 事業	3,500,000	2,950,000	550,000
			諸謝金 2,480,000	
			旅費交通費 400,000	
			消耗品 70,000	
A-3	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	108,000	108,000	0
			諸謝金 80,000	
			旅費交通費 18,000	
			消耗品 10,000	
A-4	大阪市住まい情報センタータイアッ プ事業・出前講座	0	150,000	△150,000
			諸謝金 110,000	
			旅費交通費 25,000	
			通信費 5,000	
A-5	ワンポイントアドバイラス	0	150,000	△150,000
			諸謝金 100,000	
			旅費交通費 30,000	
			消耗品費 20,000	
合計		4,108,000	3,808,000	300,000
			諸謝金 3,170,000	
			旅費交通費 523,000	
			消耗品 110,000	
			通信費 5,000	

7.3%

### 3. こむねっと部会 (中北会員)

#### こむねっと部会 平成29年度事業計画 (H29/7/1~H30/6/30)

##### ■ こむねっと部会活動の理念

活動の目的 = 社会福祉支援の実効化(中間支援活動)

社会福祉支援の目的 = 市民を“しあわせ”にする

市民の“しあわせ”とは・・・?

##### ■ 支援の原理

何のために支援するのか?

それは、“しあわせ”になるように

では、どうすればしあわせになれるのか?

“しあわせ”ってなんだろう?

そのために

福祉事業は如何にあるべきか?

こむねっとは何をすべきか?

##### ■ こむねっと部会活動と経済原理

ふくてっくは、ボランティアを超えて、ノンプロフィットオーガニゼーションの域に進みました。

**こむねっとは、さらにソーシャル・コミュニティ・ビジネスに進みます。**

社会資源利活用による障がい者地域生活拠点整備事業は、不動産開発という極めて現実的な経済活動に手を染めることを意味しています。

ふくてっくの四半世紀に及ぶ歴史の中でも、大きな転機を投げかけています。

にわかには、コンセンサスを得にくい問題提起です。

しかしながら、これはある意味、長い人類の歴史のなかで、ほんの一瞬世間を席卷した資本主義経済原理へのアンチテーゼなのです。

地球上からフロンティアが消えるとき、資本主義経済は終焉を迎えます。

物質的豊かさや右肩上がりの成長が“しあわせ”を導くという神話の崩壊が既に始まっています。

現に、数量的尺度での福祉サービスの充実が著しいが、高齢者や障がい者の生活は、一向に豊かにならない。そればかりか1人自立できるためのはずの施策やサービスは、障がい者や高齢者をして、みんなと共に暮らすのを下手にしまいました。

地域共生は、一部識者の掛け声ばかりで、大半の市民はむしろ世間づきあいを避けています。

現実の社会ではむしろコミュニティは衰退している。1人で生きてゆくとはい、独りで生きることではないのに・・・

このままでは、市民社会の精神的荒廃がますます進み、危険と不安が増大してゆくしかありません。こむねっとが目指すのは特定の地縁に根差した伝統的なコミュニティではなく、

人と人の間を吹き渡る“かぜ”のように社会を循環して時間と距離を超越した新たなコミュニティの醸成を目して活動するのです。

支え合うことで、社会の弱点を補填するのではない。支え合う文化が社会を豊かにする。

従前の福祉原理ではなく、また制度疲労の見えた経済原理とも一線を画します。

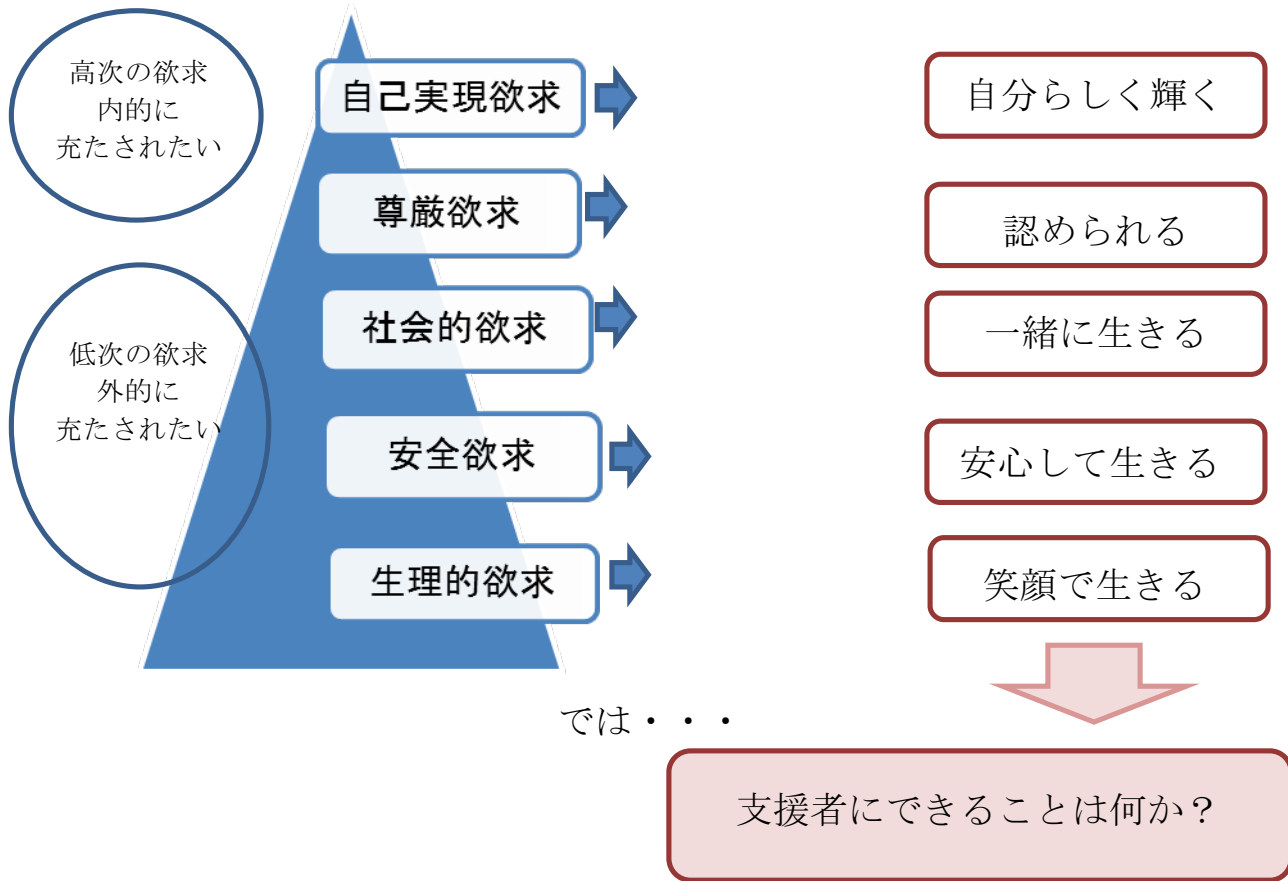
不動産開発という、経済社会の中でも最もドロドロとした世界に飛び込むことになるが、こむねっとの手法はまったく異次元の基本方針によるものです。

有象無象と競合することはなく、独自路線で進めて行きます。

青年は、ロマンを胸に社会にでて、半世紀を現実社会に生きた後、老年となって再び、ロマンに忠実な生き方に回帰するのです。



■ “しあわせ” の定義 そして 支援の原理

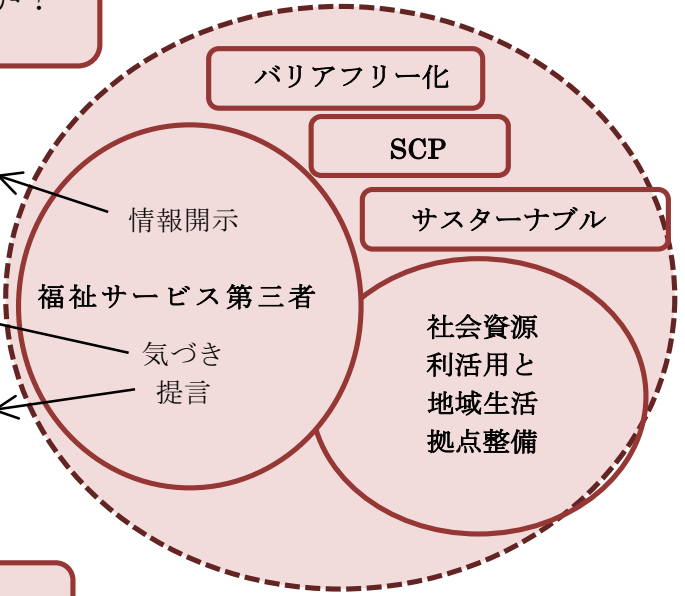


まずは笑顔で寄り添うこと  
一緒に考え、一緒にすること  
その人をそのまま受け入れ、認めること  
その力が発揮できる環境（社会・地域）を整えること

では・・・

こむねつとにできることは何か？

- 直接支援  
高齢者・障がい者への直接支援機能  
(サービスの選択に資する)
- 間接支援その1  
支援者・支援団体への中間支援機能  
(気づき・PDCA・SDCA)
- 間接支援その2  
地域社会・自治体・国へのボイス機能  
(政策提言・社会改造)



ひとことでいえば・・・

地域福祉

A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
A1-1	福祉サービス第三者評価①	H29年7月～ H30年6月	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会
	大阪府推進審議会と 評価機関連絡会		引き続き、大阪府の第三者評価事業振興に寄与する。 審議会委員は平成30年12月まで、連絡会代表幹事は平成31年3月末までの任期とする。 この間に、連絡会機能の確立と後継人事を完成する。
A1-2	福祉サービス第三者評価③	H29年7月～	ふくてつく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備		第三者評価事業の順調な受注拡大を実現しつつ、お試し評価と（仮称）スーパー第三者評価の展開を端緒につける。
A1-3	福祉サービス第三者評価④	H29年7月～	具体（複数）の評価活動を実施する
	実務遂行		1. 天王谷学園 2. 奈良県手をつなぐ育成会（第4期） 3. 美原の郷福祉会 その他、依頼を受けて検討する
A1-4	福祉サービス第三者評価⑤	H29年7月～	推進機構が実施する養成研修・継続研修、連絡会主催研修の
	評価調査者スキルアップ研修		ほか、本会独自の研修を実施する。
A2	SCP研究会	H29年7月～	災害時BCP
	ゆめ風基金、 ばあていばあてい他 (福祉事業の継続性)		ゆめ風基金主導の「災害時障害サービスBCP研究会」に 引き続き参加して具体の事業所のBCP立案に携わるとともに、 ネットワークを固める。 災害時BCPの変質に伴い、これをSCPに改称して再編を目指す
A3	医療・福祉事業環境整備 (施設環境の継続性)	H29年7月～	特殊建築物定期検査報告と連動した中長期保全計画
			①至善荘 基幹設備の抜本調査 ②大阪発達総合療育センター 中長期保全計画のための調査 ③たかとりワークス・やすらぎの丘 定期検査・設備調査 ④福井寮および診療所 継承課題の解決
A4-1	社会資源利活用と 地域福祉拠点整備 ①	H29年7月～	大阪NPOセンター 北浜サロン分科会
			2か月程度のスパンで分科会を開催し、構造実現への協働ネットワークを構築する。→事業の具体化へ結実を図る。
A4-2	社会資源利活用と 地域福祉拠点整備 ②	H29年7月～	障害者支援団体への働きかけ 土地・建物の利活用と親亡き後の障害児者自立支援
			障がい者支援団体・親の会などに活動案内 ①東大阪市事業所連絡会 GH部会 ②青葉園（西宮市社会福祉協議会） ③奈良県手をつなぐ育成会および小西氏関連諸団体 ④その他諸団体ほかを通じて
A4-3	社会資源利活用と 地域福祉拠点整備 ③	H29年7月～	企業等への働きかけ 遊休地活用と障がい者雇用の促進
			①銀行ライン ②商社ライン ③RC・LC等の社交ライン ④商工会議所・JCライン ⑤葬儀屋ライン
A4-4	社会資源利活用と 地域福祉拠点整備 ④	H29年7月～	不動産関係への働きかけ
			①仲介事業者（不動産利活用に理解ある仲介業者を厳選） ②大地主（障害福祉や地域福祉に理解ある地主を選定）

A1-3 第三者評価活動の概略スケジュール（予定）

件名	事前訪問・準備	アンケート・自己評価	訪問調査	評価決定・公表
天王谷	済み	～H29.8（9/10 期限）	H29.10、11 月	12 月～H30.2
奈良育成会	課題検討（8・9 月）	～H29.12 月	H30.2～3 月	～H30.5 月
美原の郷	状況把握（～12 月）	～H30.1 月	H30.3～4 月	～H30.6 月

**B：部会活動**（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）

	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B1-1	7 月部会	7/15（土）	H29 年度事業計画 ①第三者評価 ②社会資源利活用と地域福祉の推進 ③医療福祉施設の中長期保全 ④その他事業
	大阪市立社会福祉センター		
B1-2	8 月部会	8/19（土）	こむねっと事業推進 ①第三者評価 ②社会資源利活用と地域福祉の推進 ③医療福祉施設の中長期保全 ④その他事業
	大阪市立社会福祉センター		
B1-4	9 月例会	9/16（土） 午前	福祉サービス第三者評価 天王谷学園 自己評価分析と訪問調査計画
	大阪市立社会福祉センター		
B1-5	10 月部会	10/21（土）	障がい者支援と福祉事業組織論 大崎雅子氏講演シンポをふり返って
B1-6	11 月部会	11/18（土）	社会資源利活用
B1-7	12 月部会	12/16（土）	28 年度上半期活動の総括 上半期をふり返って計画の進捗状況の評価 ロジックモデルの振り返りと再構築 PDCA サイクル（中長期計画の策定）を語り合う
B1-8	1 月部会	1/?（ ）	施設見学 障がい者 GH を訪ねて・・・
B1-9	2 月部会	2/17（土）	福祉サービス第三者評価
B1-10	3 月部会	3/17（土）	福祉サービス第三者評価
B1-11	4 月部会	4/（土）	合宿ミーティング 研修会：サプライズ講師
B1-12	5 月部会	5/（土）	福祉サービス第三者評価
B1-13	6 月部会	6/（土）	福祉サービス第三者評価

こむねつと部会 平成 29 年度収支計画 (H29/7/1~H30/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収入	支出	収支差額
A1-1	評価機関連絡会主催研修会	0	20,000	-20,000
A1-2	福祉サービス第三者評価調査者養研修受講	0	養成・継続 50,000	-50,000
A1-3	福祉サービス第三者評価(天王谷)	300,000	活動費・諸経費 240,000	+60,000
A1-3	同上 (美原)	500,000	活動費・諸経費 400,000	+100,000
A1-3	同上 (奈良)	500,000	活動費・諸経費 400,000	+100,000
A1-3	同上 (その他新規案件) ※収支計上保留	0	0	0
A1-4	評価調査者スキルアップ研修(独自研修)	0	20,000	-20,000
A3-1	特殊建築物定期検査報告・基幹設備調査	500,000	活動費・諸経費 250,000	+250,000
A4-1	社会資源利活用と地域福祉 PM 事業	300,000	活動費・諸経費 200,000	+100,000
A4-2,3	各種活動およびネットワーク構築経費	0	50,000	-50,000
B	部会 会議室料	0	前年並み 20,000	-20,000
	資料印刷その他経費・予備費(追加研修費等)	0	50,000	-50,000
	合 計	2,100,000	1,700,000	400,000

上記、第三者評価事業において支出を収入の 80%に抑えることは、実は大変難しく計画どおりの収支差額には拘らず運営してゆくこととします。

一方表には形状を控えた、未定の事業期待もあり、結果的に部会全体としては上記の収支差額を実現したいと考えています。

# 5号議案 平成29年度 活動予算計画

## 収支計画書

平成29年7月1日から平成30年6月30日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	390,000		
通信会員受取会費	1,500		
学生会員受取会費	1,500		
預り金	28,068		
例会参加受取会費	5,000	426,068	
2. 受取寄付金		0	
3. 事業収益			
ふくてっくのつどい	96,000		
東大阪	4,108,000		
こむねっと	2,100,000	6,304,000	
4. その他収益			
受取利息	1,420		
雑収益	1,500		
NPO15周年事業協賛金	80,000	82,920	
経常収益計			6,812,988
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	284,500		
人件費計	284,500		
(2)その他経費			
材料費	35,000		
業務委託費	150,000		
諸謝金	4,263,000		
印刷製本費	18,000		
会議費	20,000		
旅費交通費	728,000		
通信運搬費	13,000		
消耗品費	131,900		
租税公課	600		
研修費	70,000		
支払手数料	30,000		
NPO15周年事業	300,000		
雑費	86,500		
その他経費計	5,846,000		
事業費計		6,130,500	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	124,800		
通勤費	33,280		
人件費計	158,080		
(2)その他経費			

諸謝金	56,000		
印刷製本費	17,000		
会議費	64,000		
通信運搬費	62,000		
消耗品費	1,500		
地代家賃	412,260		
減価償却費	1,800		
保険料	35,840		
諸会費	44,000		
租税公課	100,000		
支払手数料	32,000		
雑費	60,000		
その他経費計	886,400		
管理費計		1,044,480	
経常費用計			7,174,980
当期正味財産増減額			-381,992
前期繰越正味財産額			6,672,428
次期繰越正味財産額			6,310,436

各部の事業計画および収支予算書を総合し、通信費、会議費および管理関係経費については過年度の傾向を斟酌して作成しました。

約 38 万円の欠損となるが、15 周年記念事業の特別支出が 22 万円あり、定常的な収支は危険な状況ではない。

29 年度事業を遂行するなかで、欠損額の圧縮を図る。